



☎5803-1317 FAX 3811-3197

ホームページ: <http://www.jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp/>
Eメール: mail@jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp



目白運動場 区民のものに ＝日本共産党が財源策を提案＝

目白運動場（KKR所有）を本年度中に文京区が取得することになり、140億円が計上されました。同地は、国の「特殊法人改革」の一環として売却方針が出されていましたが、区民が運動場の存続と緑地保全を求め運動を続けてきました。

共産党区議団と小竹都議は、緒方靖夫参院議員事務所と連携して、国等に区への優先譲渡と大幅減額を要求。区に「公園として都市計画決定すれば区の負担は大幅軽減する」と提案し、国と都の補助金等で取得できることになったものです。

国・都の補助金等で大半が賄われます（区試算）

国庫補助金	26億円	17、18年度に措置されます
都市計画交付金	23億4千万円	
区民施設整備基金	80億7千万円	18～22年度に都区財政調整交付金が交付されます
特別区債	10億円	

湯立坂の緑と重要文化財を守ろう

いま小石川5-19（湯立坂東側）国の重要文化財に指定された旧磯野邸のわずか数メートル脇に、地上14階・地下2階の高層マンション計画が進行中です。風害や地盤など「銅御殿」への影響が懸念されます。地元では、湯立坂の緑と重要文化財を守る「4・22人間の輪」が取り組まれました。

区内循環バス (コミュニティバス) **来年から走ります**

来年から



区内循環バス（コミュニティバス）は、07年度から運行する見通しになりました。

第1回定例議会では、区長も施政方針で実施を表明し、昨年12月の区民意向調査もふまえ、06年度予算に100万円の調査費が計上されました。国、都、警察、地域との調整、路線の決定、区の関与や財政負担のあり方等が今後検討されることになっています。

すでに台東、千代田、荒川区などで運行され区民から評判になっています。区議団もこの間、毎議会で実現を要求し、今議会の予算委員会でも、都に対し「空白地域の緩和」等を求め補助金を確保するよう要求しました。

医療費無料化 小学6年生まで

提案した「無料化条例」は自民・公明・新生（民主）が否決！残るは5区。

23区で一番高い 介護保険料

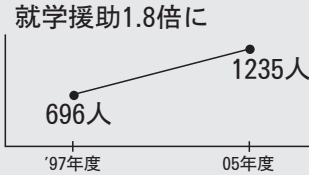
月4632円（基準額）と39%も値上げ！一般財源の投入で引き下げを要求

生活 応援区政に 転換を

障害者自立支援 法は「応益負担」法

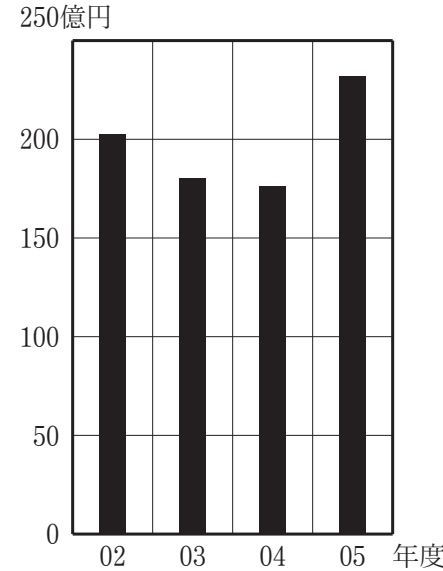
重度障害者ほど高い利用料ヘルパー利用などに区独自の軽減策を求める

文京も 格差拡大すすむ



財源はあります

基金（貯金）現在高



定例
第一回

代表質問 しました

- ・公立保育園の民営化めぐる問題一協働・協治の見地で、まず保育ビジョン策定を
- ・新年度予算で学校整備、住宅、区内循環バス、商店振興、青年の就労対策を
- ・新大塚公園の廃止を前提にした、小・中学校将来ビジョンの素案の骨子は白紙に
- ・湯立坂（小石川五丁目）の国重要文化財「旧磯野邸」をマンション建設から守れ

（全文は区議団ホームページをご覧ください）



一般質問をする
高畑ひさ子議員

- ・耐震補強工事助成は区内全域を対象に
- ・介護保険料の軽減、必要なヘルパー派遣、施設の部屋代・食事代に助成を
- ・障害が重いほど負担が大きい自立支援法一
区独自の利用料軽減策を
- ・文京アカデミー構想による社会教育・社会体育の区長部局への移管は問題
- ・戦争準備の「国民保護計画」策定するな



代表質問をする
こうだ久美子議員

新大塚公園残して

いま「新大塚公園を守る会」を中心とした地域住民の公園廃止反対の運動が大きな広がりを見せています。これは区教育委員会が「区立五中と七中の統合校の校舎を、新大塚公園と隣接する教育センターの土地に建てる」と発表して以来です。この間、三回の説明会が行なわれ、反対署名1万3千筆余は、4月10日区長と教育委員に提出されました。



06文京区予算に反対

区民には小泉内閣による定率減税の半減などで9億円を超える負担増となります。そのうえ区は、寿会館の廃止、児童館や学校給食の民間委託、高齢者マッサージの有料化など区民犠牲の「行革」をいっそう進め、23区最高額の介護保険料と国保料の値上げを押しつけました。一方、再開発には9億円の補助金を投入。日本共産党は、こうした区民に冷たい一般・国保・介護保険会計予算に反対しました。

日本共産党は予算修正案提出

また、財源は十分あると、小学6年生までの医療費無料化や高齢者の入院生活支援など9200万円増の予算修正案を提出しました。新生ク・自民・公明党が反対し、否決されました。

みんなの春夏秋冬



お金を入れても入れても福祉は出てこなかった
—消費税導入から18年— 倉田 新